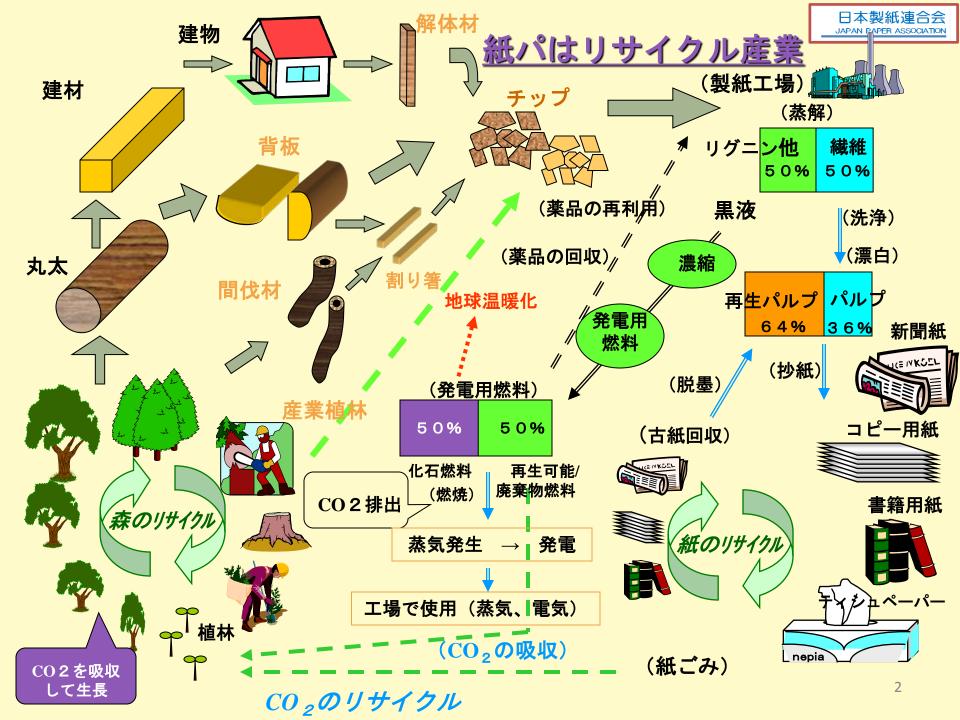


紙パルプ産業の自家発電

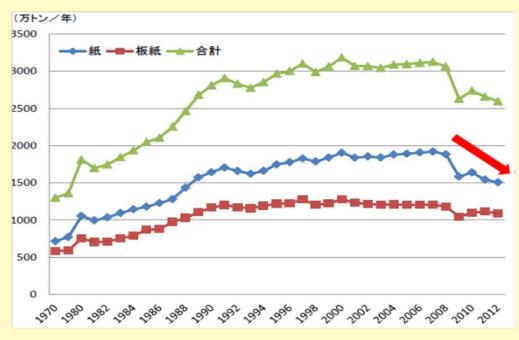
平成27年9月3日

日本製紙連合会



製紙産業の現状と将来展望

- 製紙産業は、新聞用紙・印刷用紙等の情報用、段ボール原紙・クラフト紙等の包装用、トイレットペーパー・ ティシュ等の衛生用、電気絶縁紙等の工業用の紙・板紙を生産、供給することで、各種の産業活動や家庭 生活の下支えをしている産業である。
- ・ 2012年の紙・パルプ・紙加工品産業の製品出荷額は約6.8兆円と、製造業全体の約2.4%、製造業24業種中第17位の位置を占めている。また、従業員数は約19万人で、従業員一人当たりの出荷額は約3,650万円。
- 紙・板紙生産量のピークは2000年度。産業空洞化、少子高齢化、IT化推進などの構造要因により、 国内需要は中長期的に減少傾向と予想。



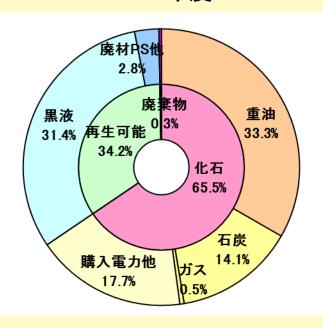
(出典)経済産業省. 生産動態統計年報 紙・印刷・プラスチック製品・ゴム製品統計編.

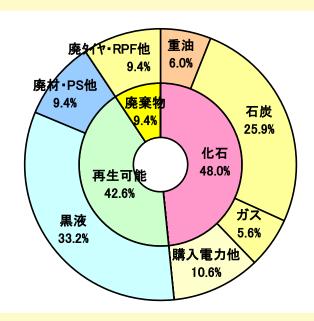
エネルギー分類別原単位比率の比較 (1990年度、2013年度対比)

製紙業界は、もともと再生可能エネルギーの比率が高いが、更に再生可能エネルギーおよび廃棄物エネルギーの使用比率の増強を図っている。

1990年度

2013年度

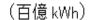


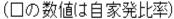


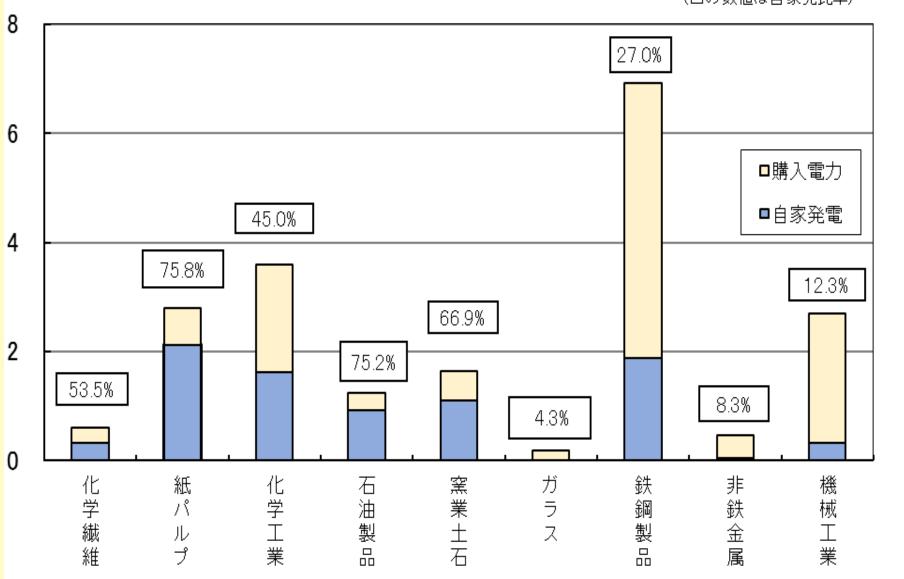
再生可能エネルギー:黒液、廃材、バーク、ペーパースラッジなど

廃棄物エネルギー:RPF、廃プラスチック、廃タイヤ・再生油など

電力消費量・自家発電比率の産業間比較 2013年



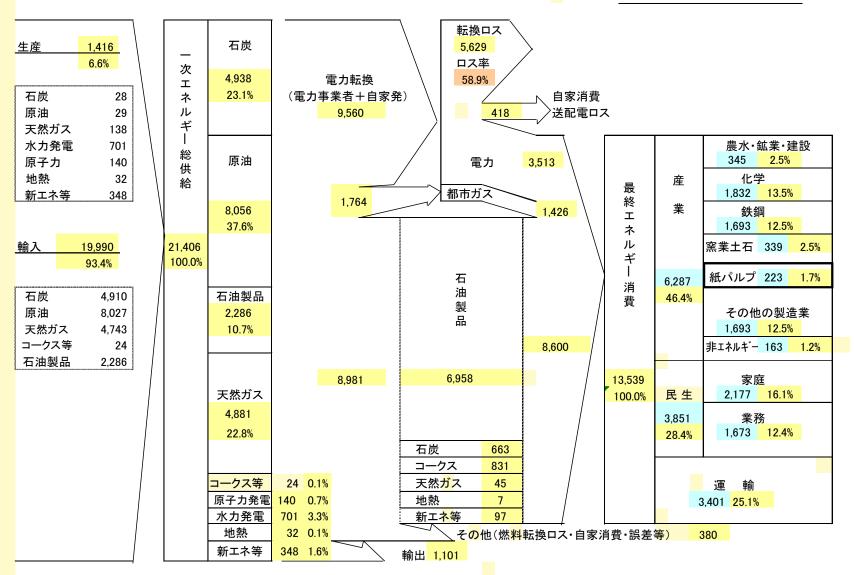




出典:「石油等消費動態統計年報」2013(平成25)年

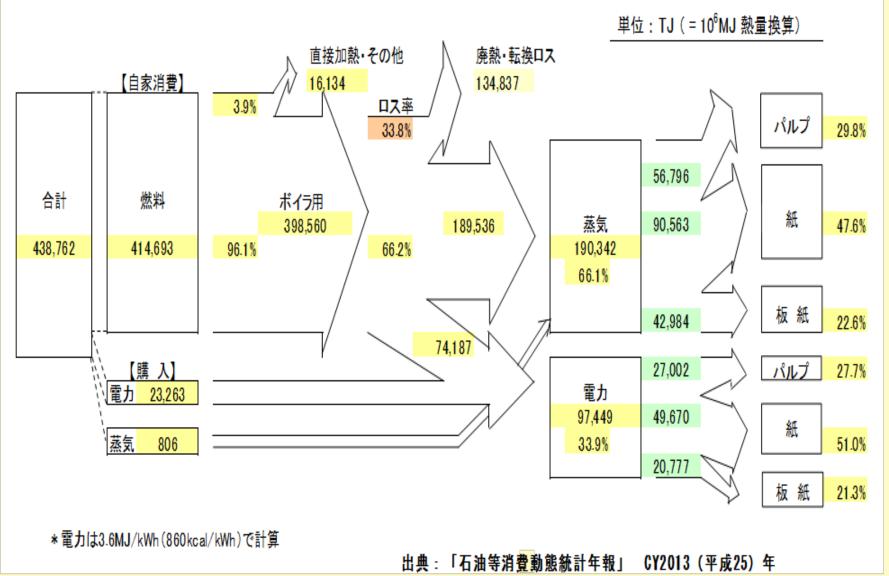
わが国のエネルギーバランス・2012(平成24)年度

単位: PJ(=10⁹MJ 熱量換算)



出典: 「EDMC/エネルギー・経済統計要覧(2014年版)」((財)省エネルギーセンター)

紙パルプ産業のエネルギー消費バランス CY2013(平成25)年





製紙工場の自家発電

